

※一部非公開

令和3年度入学試験問題（前期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

以下の文章は『競争社会の歩き方』（大竹文雄著，2017年）からの抜粋である。本文を読んだ上で，以下の問に答えよ。

非公開

非公開

非公開

(注1) バイアス：歪み、ずれ

(大竹文雄, 『競争社会の歩き方』, 中央公論新社, 2017年, 81~87ページ, 抜粋・一部改変)

- 問1 本文で指摘されているように、客観的なリスクの大きさと人々のリスク認識との間に乖離があるために、適切な対応が難しくなるような社会的問題は多く存在する。現実の社会におけるそうした事例を取り上げ、その問題が人間のリスク認識の特性という観点からどのように理解できるかについて、あなたの考えを500字以上600字以内で述べよ。
- 問2 問1で取り上げた問題に対して政府や自治体に対処しようとする際には、どのような点に注意が払われるべきかについて、本文の主張を踏まえつつ、あなたの考えを500字以上600字以内で述べよ。

令和3年度入学試験問題（前期日程）

小論文

国際地域創造学部 国際地域創造学科

（昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

この問題は、本学部が掲げるアドミッション・ポリシーのうち、主に「現代の地域・国際社会をめぐる多様な課題に対する関心を持つ」、「地域の文化・社会について多様な学問的見地から興味を持ち、主体性をもって課題に取り組む」といった点に関連する素養を評価することを意図している。

採用した資料では、認知神経科学や行動経済学から得られた知見を背景として、人間のリスク認知の中に生じるバイアスと様々な社会問題との関連について述べられている。問題文は、人間のリスク認知の特性を糸口として、現実の社会問題について幅広い関心を持っているかどうか、及び具体的な社会問題の要点を学問的見地に基づいて抽象化して理解することができるかどうかを問う設問と、課題解決に向けた柔軟な思考力を問う設問から構成されている。